

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 29 日

評価対象事業	監査 - 01	監査事務	☐ 法定受託事務
所管課	監査委員事務局		評価者 監査委員事務局長 谷川 宏
一般	会計	款 10	項 30 目 5
総合計画上の位置付け	分野名	行財政運営	施策の方針名 行財政運営

1 事業の目的

対象	各部各課等	意図	市の行政の適法性、効率性、妥当性の保障を期するため。
効果	正確性、合规性、経済性、効率性及び有効性の観点から監査を実施し、公正で合理的かつ能率的な市の行政運営が行われるようにする。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	各種監査等（財務監査、随時監査、例月出納検査、決算等審査、住民監査請求等の審査）の実施	各種監査等（財務監査、随時監査、例月出納検査、決算等審査、住民監査請求等の審査）の実施	各種監査等（財務監査、随時監査、例月出納検査、決算等審査、住民監査請求等の審査）の実施
予算額（千円）	3,626	3,626	
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	3,626	3,626	0
当初人員配置数	5.0	6.0	0.0
人件費（千円）	42,685	45,616	0
事業実績	各種監査等（財務監査、随時監査、例月出納検査、決算等審査、住民監査請求等の審査）の実施		
決算額（千円）	3,469		
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	3,469	0	0
人員配置実績数	6.0	0.0	0.0
人件費（千円）	42,796	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
						（上段実績、下段経費（千円））		
活1	指標名	定期監査実施部等数	箇所	10	⇒	9		
	実績につながる活動	各職場に法令順守や適正な事務執行を促すため、定期監査を計画的に実施した				0		
活2	指標名	定期監査における注意事項等の件数	件	237	ㇿ	181		
	実績につながる活動	定期監査で見つかった誤りや注意すべき項目を指摘し、是正・改善を促した				0		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	活動結果指標の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	令和7年度監査等年間計画に基づき定期監査を実施し、見つかった誤りや注意すべき項目を指摘し、是正・改善を促した。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No （最大3つ）
成1	監査における指摘事項及び注意事項等に対する是正・改善数の割合	%	94.4	100	98.9			活1 活2

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	成果指標の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	成果指標1について、令和7年度中に措置状況報告の依頼を行った指摘事項及び注意事項に対する是正・改善の措置に関して、措置が完了した割合は98.9%となり、目標値である100%を達成できなかった。措置が完了しなかった案件については、引き続き措置状況の報告を求めている。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	定期監査を計画的に実施した結果、見つかった誤りや注意すべき項目を指摘し、また前年度以前の注意事項等のうち98.9%が是正・改善されたことから、市の適正な事務の執行や事務改善に寄与したと評価する。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている ☒ 変わらない ☐ 減少している		
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市 ☐ 国・県 ☐ 民間事業者 ☐ なし		
	有効性	事業の成果	☐ 十分に出ている ☒ 概ね出ている ☐ 出ていない		
	効率性	事業費削減余地	☐ ある ☒ なし		
		関連・類似事業との統合	☐ できる ☒ できない		
方向性	公平性	受益者負担	☐ 導入済 ☐ 導入予定 ☒ 導入できない		
	評価実施年度の方向性		⇒ 評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り ⇒ ☒ ① 事業内容は現状通りとする ☐ 事業内容は見直し済 ⇒ ☐ ② 事業内容は見直す → ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 ☐ 事業を休止又は廃止済 ⇒ ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ 他事業と統合済 ⇒ ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する → 事業へ統合			
		☒ 予算規模は現状維持 ⇒ ☒ ① 予算規模は現状維持とする ☐ 予算規模は拡大済 ⇒ ☐ ② 予算規模は拡大する ☐ 予算規模を縮小済 ⇒ ☐ ③ 予算規模は縮小する			

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応		結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果		前年度は新たな課題なし		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題		新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性		新たに認識された課題はなかったため検討なし		
	総評	・ 監査委員がその権限に基づき職務を執行するにあたり合理的な基礎を得て判断できるよう、実地調査及び書類調査等の実務を担う。 ・ 監査における専門的知識や監査技術の向上、行政運営上の新たな課題にも対応できるスキルが必要であるため、その習得及び強化に努めていく。			上位施策への寄与度 A

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項	職員 1 人当たりの人口（小数点以下第 1 位四捨五入）（中段：人口、下段：常勤職員数、単位：人）								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	南足柄市	逗子市	三浦市
他市実績	33,795	49,217	35,037	32,175	30,706	40,435	12,834	10,934	9,658
	168,977	442,956	245,260	257,399	184,233	363,912	38,502	54,669	38,632
	5	9	7	8	6	9	3	5	4

当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方	・監査事務の研究、意見交換等により監査の発展を目的として湘南都市9市で構成する湘南都市監査事務研究協議会の各都市を他市比較として設定（令和8年4月1日現在）。最小の経費で最大の効果を目指す。
---------------------------------------	--